

避難所運営

ユーザー

避難所の登録

ユーザー情報の登録

避難所の状態の確認

近くの避難所を確認

避難所にチェックインする

避難所からチェックアウトする

エンティティ

- ・ユーザー情報
- ・避難所の情報
- ・避難所の状態（現時点での人数）
- ・ユーザーの状態（現在地など）
- （・現時点での気象状態）

[ユースケース 1：避難所の登録]

- ・概要：ユーザー（避難所）が避難所の情報を登録する。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「避難所の登録」に対応する数字を入力する。
  2. システムは避難所の名称・住所・電話番号・座標・広さ・収容可能人数（密の防止を想定した）・対応災害区分を尋ねる。
  3. ユーザーが上記の事項を入力する。
  4. システムはユーザーが入力した情報を再度表示して確認する。
  5. システムは避難所に避難所IDを割り当てて、DBにユーザが登録した情報と避難所IDを保存する。
- ・代替フロー：
- ・事後条件：避難所の情報が登録されていること。

[ユースケース 2：ユーザー情報の登録]

- ・概要：ユーザーがアプリの利用に必要なユーザー自身の情報を登録する。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「ユーザー情報の登録」に対応する数字を入力する。
  2. システムはユーザーの氏名・UID・世帯人数・住所・電話番号を尋ねる。
  3. ユーザーは上記の事項を入力する。
  4. システムはユーザーが入力した情報を再度表示して確認する。
  5. システムはDBにユーザが登録した情報を保存する。
- ・代替フロー：
- ・事後条件：ユーザの情報が登録されていること。

[ユースケース 3：避難所の状態の確認]

- ・概要：ユーザーが現時点での避難所の状態（開設されているかどうか、人数など）を確認する。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「避難所の状態の確認」に対応する数字を入力する。
  2. システムはユーザーの近隣の避難所をリスト形式で表示する。
  3. ユーザーが確認したい避難所を選択する。
  4. システムはユーザーの選択した避難所の現在の状態を表示する。
- ・代替フロー：4で避難所の収容人数が限界に近い、または限界に達していた場合
  - 4α. 近隣にある別の収容人数に余裕のある避難所を提案する。
- ・事後条件：ユーザが避難所の状態を確認できること。

[ユースケース 4：避難所にチェックインする]

- ・概要：ユーザーが避難所にチェックインする。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「避難所にチェックイン」に対応する数字を入力する。
  2. システムはユーザーの現在地（避難所）をGPSを用いて把握し、チェックインするか確認する。
  3. ユーザーがチェックインを了承する。
- ・代替フロー：2でユーザーの現在地を把握できない場合
  - 2α. 現在地が把握できない旨を表示し、ユーザーが手動で現時点で登録されている避難所の中から選択する。
- ・事後条件：ユーザが避難所にチェックインできること。

[ユースケース 5：避難所にチェックアウトする]

- ・概要：ユーザーが避難所にチェックアウトする。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「避難所にチェックアウト」に対応する数字を入力する。
  2. システムはユーザーの現時点のエンティティよりチェックインしている避難所を確認する。
  3. システムはユーザーにチェックアウトするか確認する。
  4. ユーザーはチェックアウトを了承する。
- ・代替フロー：2でユーザーがどこの避難所にもチェックインしていない場合
  - 2α. チェックインしている避難所がないとしてエラーを表示し、メニューに戻る。
- ・事後条件：ユーザが避難所にチェックアウトできること。

[ユースケース 5：近くの避難所を確認する]

- ・概要：ユーザーが近隣の避難所を確認（検索）する。
- ・事前条件：アプリが起動済みでメニューが表示されていること。
- ・トリガー：ユーザーがメニューから対応する数字を入力する。
- ・基本フロー：
  1. ユーザーがメニューから「近くの避難所を確認」に対応する数字を入力する。
  2. システムはユーザーのエンティティよりユーザーの住所を把握し、近隣の避難所を表示する。
- ・代替フロー：
- ・事後条件：ユーザが近くの避難所を確認できること。